

研究名：口唇肉芽腫症 (Orofacial granulomatosis: OFG)を合併する 小児期発症クローン病の臨床的特徴と適切な治療法の検討：多機関共同研究

1．研究の目的

クローン病は、炎症性腸疾患（以下、IBD）の病型の1つであり、免疫の異常により慢性的に腸管炎症を来す疾患です。本邦においてその患者数は、この30年間で約10倍に増加し約5万人に達し、そのうち約10-15%が小児期に発症するとされています。クローン病は約10-30%で関節炎や皮膚疾患、原発性硬化性胆管炎などの肝臓疾患など、腸管外合併症を来すことが知られており、一般的にそれらの合併症を来す場合はより重症あるいは複雑な経過を辿ると考えられています。

一方で、Orofacial granulomatosis(口唇肉芽腫症(以下OFG))は、肉芽腫性病変が口腔粘膜や口唇および口腔内にできる病気です。OFGを発症された患者さんの約30%が後にクローン病を発症するという報告があります。また、これらは成人の患者さんと比べて小児期に発症したクローン病患者さんに多いとされています。OFGは、口唇や口腔粘膜の腫脹等を認め、痛みを伴うこともあり、整容面を含め患者さんの生活に影響を及ぼします。ただ、OFGを認めるクローン病について明らかになっていない点が多く、患者さんの長期的な経過について検討された報告はまだ少ないです。OFGを先行あるいはクローン病と同時期に発症したクローン病の小児患者さんにおいて、その臨床経過、施行されてきた治療法を解析し、OFGを有する小児クローン病患者に予測される臨床経過、ならびに適切な治療法を明らかにし、患者さんのQOLを改善することを目指します。本研究は以下に列挙した小児炎症性腸疾患を専門として診療している多機関の共同研究として行われます。

2．研究の方法

[研究方法]

本研究に参加している7施設において、OFGを先行またはクローン病と同時に発症した患者様の電子診療録から、臨床経過や施行されてきた治療法、OFGに奏功した治療法などの臨床情報を収集し解析します。全ての診療情報は匿名化し、個人情報が決して分からない形で行います。

[研究対象者]

本研究に参加している施設にて、小児期(18歳以下)にクローン病の診断となった患者のうち、OFGを先行またはクローン病と同時に発症したすべての患者を対象とします。

[対象期間]

OFGあるいはクローン病の発症から2022年1月31日までの診療情報を解析します。

3 . 研究に用いる情報の種類

【基本情報】

1)性別, 2)IBD の家族歴 (2 親等以内), 3)クローン病の病型 (Paris 分類), 4)肛門病変 , 5)腸管外症状, 6)併存症/基礎疾患

【OFG の特徴】

1)OFG 発症時の年齢, 2)OFG 診断時の年齢, 3)OFG の病変部位・自覚症状, 4)皮膚科医または口腔外科医の診療の有無, 5)OFG 組織生検の有無, 6)OFG からの肉芽腫検出の有無, 7)OFG 診断時の血液検査, 8)OFG 診断時の内視鏡検査, 9)OFG に対してこれまで施行されてきた治療, 10)OFG の明らかな増悪あるいは不変に伴う治療変更の機会

【クローン病の特徴】

1)CD 発症時の年齢, 2)CD 診断時の年齢, 3)CD 診断時の排便回数, 4)CD 診断時の肛門病変, 5)CD 診断時の OFG 病変・自覚症状, 6)CD 診断時の重症度, 7)CD 診断時の内視鏡所見, 8)CD 診断時の血液検査, 9)CD 現在の臨床情報, 10)CD 現在の治療, 11)CD に対してこれまで施行されてきた治療, 11) CD (消化管病変) の治療ステップアップを要した再燃

患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、**個人情報は保守されます。**

4 . 情報の公表

研究結果は、医学論文や学会発表などの形で公表される予定です。

5 . 研究実施機関

国立成育医療研究センター	および	以下の医療機関
埼玉県立小児医療センター	消化器・肝臓科	南部 隆亮
大阪母子医療センター	消化器・内分泌科	萩原 真一郎
熊本赤十字病院	小児科	高木 祐吾
久留米大学	小児科	水落 建輝
群馬大学	小児科	石毛 崇
順天堂大学	小児科	工藤 孝広

6 . お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2022年10月31日までに、下記連絡先までお申出ください。その場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 消化器科 清水 泰岳

住所：東京都世田谷区大蔵2 - 10 - 1

電話：03 - 3416 - 0181

研究責任者：

国立成育医療研究センター 消化器科 清水 泰岳